

## RELC 出張報告

堀 素子 (関西外国語大学)

JACET 代表ということで過日シンガポールの RELC で開催された英語教育関係の学会に出席しました。以下、その概要を (1) 大会プログラム (2) 参加者 (3) 基調講演 (4) 研究発表 (5) その他の感想の順に報告します。

大会名称 : 42<sup>nd</sup> RELC International Seminar

主催 : Southeast Asian Ministers of Education Organization (SEAMEO)

Regional Language Center (RELC), 30 Orange Grove Road, Singapore

日程 : 2007年4月23日 (月) - 4月25日 (水)

大会テーマ : Strategies in Language Learning and Teaching

### (1) 大会プログラム

大会のテーマが **Strategies in Language Learning and Teaching** なので、**strategy** に焦点を合わせた発表・討論がたくさんありました。午前中に基調講演、**coffee** をはさんで、**Parallel sessions** が5~9の部屋で同時に行われ、**lunch** 後にも **Parallel sessions** が続き、最後の **coffee** の後は **Workshop sessions** が8~9の部屋で同時に行われ、大体夕方5時半から6時に全部のプログラムが終了しました。

その他に、**Special Interest Group** とか、**Publishers' Corner** というのもありました。

**Social Program** 的なものとしては、**Opening Ceremony** の式典にインドネシアの教育大臣で **SEAMEO** の **President** でもある **Prof Dr Bambang Sudibyo** が **Guest of Honour** として出席し、演説もされました。また火曜日の夜は **Novotel Clark Quay Hotel** で **Seminar Dinner** があり、**Invited speakers** と **Paper presenters** は全員招待されました。

### (2) 参加者

参加者の総数は563名とのことで大変な盛況でした。

国別では、**SEAMEO member countries** から **Brunei, Cambodia, Indonesia, Malaysia, Philippines, Singapore, Thailand, Vietnam** の8カ国、また **Non-SEAMEO member countries** からは **Fiji, Hong Kong, India, Japan, Taiwan, United Arab Emirates, United Kingdom, United States** の8カ国、そのほか **Associate SEAMEO member countries** から **Australia, Canada, Germany, New Zealand** の4カ国、計20カ国からの参加者がありました。服装・身体的特徴のそれぞれに各民族的背景がうかがわれ、東南アジアの多様性を実感しました。

### (3) 基調講演

1 1名の Invited speakers が毎日次のテーマで60分のスピーチをしました。

Learning styles and technology in the new millennium

Effective teaching and learning through informative feedback

Teaching learning strategies: not a passing fad—simply good pedagogy

Digging deeper: learners disposition and strategy use

Strategies and activities promoting automatization oral competence in the  
council-of-Europe's framework

Is there balance between theory and pedagogy

Promoting strategic Awareness and control

Get a MUVE on: multi-user virtual environments, teaching and training

A strategic view of pronunciation in English as a second language

How do you motivate yourself and learners?

Text-based lessons: turning pseudo-intensive work into real intensive work

全体の印象としては、実際の教室でどのように学習者を動機付けるかに一番の関心が払われていたように思います。理論のあれこれよりも現実の学生・生徒を前にして、教師は何をすべきか・何ができるかという差し迫った問題を扱っている印象を受けました。対象とする learners は必ずしも大学生ではなく小学生もあり得るのですが、その場合はむしろ teacher training の色彩が強かったと思います。

### (4) 研究発表

Parallel sessions は全部で60あり、各国からの speakers はここで発表しました。ここでは各発表者はそれぞれの研究課題の中で特に大会テーマに関係すると思われる部分について発表した、という感じです。日本からは Invited speaker で Workshop organizer でもある Sara Cotterall (秋田国際大学) のほか、Michiko Nakano (早稲田大学)、Eiichiro Tsutui (広島国際大学)、Keita Kikuchi (早稲田大学)、Tara Waller (神田外語大学)、Motoko Hori (関西外国語大学) が研究発表をしました。

彼らの発表テーマは次のとおりです。

Promoting strategic awareness and control (Sara Cotterall, Keynote speech)

Learner strategies: the neglected essential in language teaching (Sara Cotterall, Workshop)

An application of individual differences research to the practice of language teaching (Eiichiro Tsutui & Michiko Nakan)

Teachers' strategies to avoid students' demotivation: a perspective from survey studies (Keita Kikuchi)

Using lesson study for classroom research and materials development (Tara Waller)

The role of providing a teacher center for effective professional development (Tara Waller)

Teaching 'politeness' in language education (Motoko Hori)

(5) その他の感想

この大会は今年が42回ということで、運営面・内容面ともに非常によく練れた高い水準の国際学会だと思いました。そもそも RELC という所が常に東南アジア諸国からの言語学習者を受け入れているので、今回の大会もその1つとして特に目立った活動ではないように見受けました。その意味では、毎年異なる大学で毎回別の研究者が担当して必死に開催する日本の学会とは少しニュアンスが違うと思いました。

各部屋にはコンピュータ、マイク、スクリーンなどすべての設備が完備していて、USBを1本持っていけばすべて OK で、発表以前のトラブルは1つもありませんでした。その背後には多くの staff がいるのと同時に、manual workers もいるようで、彼らのお蔭で coffee break, lunch など、非常にスムーズに清潔に運ばれました。

それともう1つ日本の学会との大きな違いは、行事のすべてが英語で行われたということです。シンガポールだから当然といえば当然ですが、講演・発表・各種アナウンスメント・表示・配布物のすべてが英語でされていたため、言語がわからなくて不自由したということは皆無でした。

昨年 JACET 大会に出席した海外学会の代表者から、英語の発表が少なくて聞きに行くセッションがない、という声を聞いたのを思い出し、今後の JACET のあり方を少し考えさせられました。

なお今年の秋、日本で開催される国際学会のアナウンスメントもありましたので、ご紹介しておきます。

大会名：The Independent Learning Association 2007 Japan Conference

会場：神田外語大学

日時：2007年10月5日（金）－10月8日（月）

[www.independentlearning.org](http://www.independentlearning.org)